

西部地区福祉だより

ゆたかな心  確かなきずな

発行者

藤沢西部地区
社会福祉協議会
事務局藤沢市民センター内
0466(22)0019

印刷(有)カワムラ印刷

令和7年度

高齢者おたのしみ会

令和7年9月24日(水)

高齢者おたのしみ会が藤沢市民センターで行われました。

第一部は「春蝶」改め「踊るエンカーティナー」「恋川いろは」さんの歌謡舞踊ショーです。歌いながら一人ひとり握手をしてもらったり、着物からドレスへの早変わりでは皆びっくり、瞬く間に時間が過ぎていきました。



踊るエンカーティナー

「恋川いろは」

第二部は西部いきいきサ

ポートセンターの方に「座ってできるストレッチ」を習いました。体をほぐした後、第三部はドキドキ抽選会です。「当たった!」「一番ちがいだった!」外れてしまった方は「だめだった!」と盛り上がりました。二十五名の方々に商品をお渡しして、外れてしまった方々にも参加賞をお持ち帰りいただきました。

「初めて参加して当たったわ」「去年も会ったわね、来年も会いましょうね」と帰るころには皆さんお知り合いトーク。笑顔で「楽しかった!」とのお声をいただき安堵いたしました。ご参加いただいた皆様に感謝すると共に、次回も喜んで頂ける催しを計画していきたいと思っています。来年も多くの皆様のご参加を西部地区社協一同お待ちしております。

令和7年度

健康講座(体操)

少しの時間を有効活用!!

ちよこつと時間で

らくらく

筋トレ習慣

令和7年7月11日(金)

地域の皆様が生き生きと健康に過ごしていけます様にと、少しの時間を有効活用しての「ちよこつと時間」でらくらく筋トレ習慣のテーマでの開催でした。

藤沢市保健医療センターの高橋健氏による講座で、前年度参加の方もおられ、ご自分の体力や健康度の確認もできているようでした。

健康づくりのために①歩こう②運動を取り入れよう③筋力を高めよう④座りっぱなしを避けよう、などを中心に、座ってのストレッチ

筋トレ、椅子を利用したストレッチ、マットを使つてのストレッチなど、無理せずに行える運動の実践を学びました。

参加者の方からは「体力測定の意義と筋トレの大切さを学べました」「体力が弱くなっていると実感したので回復できるよう頑張りたい」などの感想があり、私たちも自分自身の健康づくりに運動を取り入れ、役立てていけたらと思っております。



ご長寿を祝して

西部地区社協では、地区にお住いの百歳、九十歳の方々へ
敬老お祝い金お届けしました。
こちらにお名前を掲載し、改めてお祝い申し上げます。

祝 百歳

(大正14年4月1日)

昭和元年3月31日生

7人(匿名2人)(敬称略)

金井 信之

中丸 よし子

大久保 きみゑ

大胡 ナヲ

森 一義

祝 九十歳

(昭和9年9月17日)

昭和10年9月16日生

66人(匿名11人)(敬称略)

金井 ツヤ

大江 清子

間宮 チヨ

佐藤 珠枝

伊豆内 敬子

渡邊 絢子

直井 博

小坂 勢津子

山下 カル子

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|------|--------|------|------|------|-----|------|
| 田村尚子 | 加藤子 | 菊地勉 | 植木進 | 永野忠則 | 中村育子 | 富田潤一 | 山内歌子 | 大衛糸子 | 中岩ミチ子 | 関智恵子 | 村松禮子 | 井上教子 | 永海ナミエ | 古賀勉 | 安彦貞俊 | 池田久江 | 立川久江 | 渡邊傳江 | 黒川孝子 | 三好直子 | 岡田晃 | 椎野正子 |
| 穴倉房子 | 新戸利正 | 小須田勝巳 | 野間口正則 | 倉石菊枝 | 菅井きよ子 | 田村由美子 | 関根千鶴子 | 堀田俊廣 | 篠田多恵子 | 板垣良二 | 渡部玲子 | 亀井貴美江 | 加藤忠道 | 佐藤久美子 | 飯尾京子 | 松浦絢子 | 大和田三代子 | 中村初枝 | 吉田明 | 岡田憲子 | 杉寄徳 | 山本文 |

寿ぎ(ことほぎ)の便り

今年も敬老の日に合わせて、藤沢西部地区にお住いの対象者の方に、心ばかりのお祝い品をお送りいたしました。

○対象者

令和7年9月15日時点で

85歳・88歳・95歳の方

○贈呈数

85歳 百十一人

88歳 百十一人

95歳 三十九人

○贈呈品(お祝い品)

お茶



※「寿ぎの便り」は、令和3年度から、敬老会に代わる事業として実施しています。

「藤沢西部地区社会福祉協議会」

福祉ネットワーク「きずな」

☆高齢者の家庭、お一人暮らし、身体の不自由な方へのお手伝いをします。

受付：月・水・金(午前10時から午後3時)

電話 24-8480 奉仕料無し

小学校新入学児童

94名の皆さん

おめでとう

いっしょに

お祝いの図書カードを各町内会・自治会を通してお届けしました。

入学式



賛助会へ入会のお礼 (追加)

令和7年度の賛助会員につきまして、「西部地区福祉だより第96号(令和7年12月20日発行)」での報告後、新たにご入会いただきましたので、この場を借りてご報告いたします。

改めましてご入会いただいた皆様には心よりお礼申し上げます。

【賛助会員】 泉町内会16口

【賛助会費】 一万六千円

田	渡	塙	酒	楠	高	菅	安	今	高	織	難	執
中	辺	井	井	山	橋	井	原	井	田	田	波	行
一	暢	か	か	利	宏	隆	拓	由	朝	悦	誠	英
久	宏	ほ	ほ	彦	輔	義	也	平	子	永	一郎	機

仲田 正人
田子 恒夫

(令和7年度総額 六二〇,〇〇〇円)

令和7年度健康講座〈食〉

「ホカホカの肉まんをつくらう！」

令和7年12月13日(土)

今回も『小学生3年生までは保護者と、4〜6年生は一人可』を対象とし15名の参加者がありました。

今回の肉まん、スープはたくさん野菜を使い、食材それぞれをきざむ作業も4グループに分かれて、講師の指導でスムーズに進み



ました。肉まんは皮からの作成で、中の具も食べ応えがあり、市販品に負けないおいしさでした。

来年度もテーマを変え開催予定です。回覧板等で周知いたします。ご参加お待ちしております。

令和7年度福祉映画会

映画『梅切らぬバカ』

令和8年2月7日(土)

老いを意識する母親と自閉症を抱える息子の日常を、温かな視点で描く映画『梅切らぬバカ』が、藤沢市民センター3Fホールで上映されました。

この映画は、50歳を迎えた自閉症の息子の将来を案じ、グループホームへの入居をめぐるおこる様々なできごとを中心に、地域社会で自立の道を模索する母子の苦悩やささやかな幸福等が、ユーモアを交えつつリアルかつ繊細に描かれていました。

障がい者福祉を「知る」機会として、多くの方にご参加頂き、笑いや感動を共有しました。

【参加者の感想】

・地域の理解とコミュニケーションが大切だと思いました。

・みんなが自分ごととして受け止めて行くことで、少しずつわかりあっているのだと思います。

〜ことわざ〜

「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」

樹木の剪定には、それぞれの木の特性にしたがって対処する必要があるという戒めから転じて、人との関わりにおいても、相手の性格や特徴を理解しようとする向き合うことが大事であることを指す。



令和7年度
理事研修会

令和7年11月25日(火)

障がい者福祉を実践している現場を訪れ、どのような支援活動をしているのか視察研修するため、栃木県足利市にある「こころみ学園・ココ・ファーム・ワイナリー」に行ってきました。

「こころみ学園」は1958(昭和33)年に、当時の特殊学級教員川田昇さんが、教え子たちと2年がかりで勾配38度の急斜面3ヘクタールの山を開墾しぶどう畑を作



り、1961(昭和36)年マスカット・ベリーAを植樹しました。1968(昭和43)年知的障がい者更生施設「こころみ学園」を創設し、職員9名と利用者30人が寝起きを共にして、ぶどうとしたい栽培を中心とした農作業を手作業で始めました。

1984年(昭和59)年ワインづくりの認可を受け、1万2千本を生産しました。そして、2003(平成15)年レストラン「ココ・ファーム・カフェ」を併設し、今回、ワインコンテナを見学した後、私たちに「こころみ学園」のワインを試飲させてくれました。

＊ 令和7年度 主な実施事業 ＊

令和7年度も、会員の皆さまのご理解とご協力により、様々な事業が実施できました。心より御礼申し上げます。

2025年(令和7年)	
7月	健康講座(体操)
9月	高齢者おたのしみ会 寿ぎの便り<敬老祝品贈呈> 敬老祝金の贈呈 百歳訪問(9月対象者)
10月	子ども会への助成金交付
11月	理事研修会 百歳訪問(11月対象者)
12月	健康講座(食) 在宅寝たきり高齢者への年末見舞金贈呈
2026年(令和8年)	
1月	百歳訪問(1月対象者)
2月	福祉映画会
3月	小学校新入学児童への祝品贈呈

編集後記

もうすぐ、ピカピカのランドセルを背中に新入学の一年生が通い始めます。

新年度を迎え、地域の皆様とともに温もりのあるつながりを作れるよう活動していかねければと思う時期でもあります。本誌にて昨年度のご報告をさせていただくとともに、新年度も市の職員の皆様をはじめ福祉にかかわる方々と連携、協力しながら活動をしていきたいと思っております。

編集委員

廣瀬 石井 川村 清水 本谷

現在の「こころみ学園」は100名程の利用者さんが活動し、高齢の方には農作業で汚れた衣類の洗濯など適材適所の作業をしているとのこと。また、ワインはJAL国際線に採用されたり、国産に振舞われるほどワインの質が認められ、全国に販売されています。障がい者福祉の制度が不十分な中、当事者主体の取組みを推進した「こころみ学園」に学ぶこと多い研修でした。(参加者:町内会・自治会長・役員、民生・児童委員等、事務局合計13名)